

鹿児島市 観光交流センター



所在地：鹿児島県鹿児島市上之園町1番1号
敷地面積：約1,658㎡
延床面積：約430㎡
構造・規模：鉄骨造、2階建
設計：建築／株式会社武田建築事務所
設備／株式会社西栄設備事務所
施工：建築／弓場建設株式会社
電気／栄光電設株式会社
供用開始：平成22年8月

S73

平成23年3月の九州新幹線全線開業に向け、鹿児島市が整備してきた甲突川右岸緑地整備事業が完成。市民や観光客の散策や周遊の拠点となる観光交流センターは、壁面緑化をはじめ、太陽光発電の導入やLED照明の採用など、環境に配慮した計画となっています。

市民や観光客の散策や周遊、交流の拠点となる施設が完成

平成23年3月の九州新幹線全線開業に向け、鹿児島市では市内を流れる甲突川左岸の歴史ロード“維新ふるさとの道”の対岸に、「今の鹿児島」を体感!にぎわいの交流空間“ナポリ広場”の創造」をコンセプトにした、開放的なにぎわい交流空間が整備されました。

この甲突川右岸緑地の中心となる観光交流センターは、1階が各種観光情報を入手できる観光交流スペース、2階が団体客の休憩所や各種催事に活用できる休憩・交流スペースと飲食店になっています。同センターでは、環境対策として、壁面緑化や既設井水による冷暖房、屋上には太陽光発電装置を導入し、室内照明にはLEDが中心に採用されています。

LEDダウンライトを多用し、省エネ・低CO₂を図りながら魅力的な照明空間を創出

鹿児島市では、温室効果ガスの削減化に積極的に取り組まれており、鹿児島市観光交流センターにおいては温暖化防止対策の一環として館内の照明は小電力、低CO₂排出量のLEDが採用されています。

1階の観光交流スペース及び2階の休憩・交流スペースの照明は、FHT32W器具相当の明るさを消費電力20Wで実現するLEDダウンライト1500シリーズ（昼白色、器具光束1,560lm）を配置。大幅な省エネ・CO₂の削減を可能にしています。同時にLED特性の適度なきらめき感で賑やかさ、上品さが表出され、市民や観光客が集まり、憩う魅力的な照明空間が作り出されています。また、広角タイプを用いたことにより、室内全体に一律の明るさと適度な鉛直面照度が確保され、加えて演色性のよいRa70以上により、各種観光情報も見やすく、自然な色合いの光環境が得られています。

2階に設けられている甲突川を眺められる屋外ウッドテラスの照明は、軒下用LEDダウンライト500シリーズ（昼白色、消費電力6.9W）を採用し、60W形白熱電球相当の明るさを確保しながら大幅な消費電力・CO₂排出量（約87%）を削減しています。



LEDの適度なきらめき感で賑やかさ、上品な雰囲気を出した1階観光交流スペース



観光案内相談コーナーのLED照明



次階への期待感を演出するLED照明



心の安らぎと期待感を与える2階休憩・交流スペースのLED照明



長寿命60,000時間のLED防犯灯を建物周辺に設置



水銀ランプ100W用と比較して約70%省エネを実現

設置場所	器具名	形名	台数	備考
室内	LEDダウンライト1500シリーズ	LEDD-15001MW-LS9	62	LED 消費電力:20W
	軒下用LEDダウンライト500シリーズ	LEDD-66901MW-LS1	25	LED 消費電力:6.9W
屋外	LED防犯灯	LEDK-70941W-LS8	4	LED 消費電力:32W